



# こどもクリニックニュース

NO. 117 平成21年9月1日発行  
ともながこどもクリニック

## 咳エチケットにご協力を！！

風邪の症状で受診される方、特に咳が出ている方は、周囲の人への感染を減らすため、マスクの着用をお願いします。マスクのない方は、咳をする時にハンカチやタオルで口元を覆ってください。



## 休診の予定

9月12日(土) 職員旅行のため、休診とします。

### 水曜日は「一日休診」です！

平成21年4月1日より、毎週水曜日は午前中の診療も中止して丸一日を休診といたしました。その代わりに、一部の祝日の午前中に診療しています。

## 祝日の診療予定表

9月	23日	(水)	秋分の日
10月	12日	(月)	体育の日
11月	3日	(火)	文化の日
	23日	(月)	勤労感謝の日
12月	23日	(水)	天皇誕生日

年内の祝日診療は、今のところ上記のように計画しています。11月以降の日程につきましては冬季の小児科休日診療とのかね合いで変更があるかもしれません。

## 院長の予定 (2009年10月まで)

9月	29日	(火)	休日診療会議	市役所
	30日	(水)	9ヶ月健診	保健センター
10月	7日	(水)	内科健診	にしき保育園
	16日	(金)	ポリオ	保健センター
	26日	(月)	3才健診	保健センター
	29日	(木)	就学児検診	水深小

これらの日は午前の受付を12:00前に締め切ることがあります。また午後の診療開始時間が多少遅れることがあります。なお水曜日は一日休診ですので診療には影響ありません。

## 感染症の情報

皆様ご存知のように、8月に入ったところから新型インフルエンザの患者さんが急速に増え、9月になって全国的に新学期を迎えると、流行はさらに拡大するものと予想されています。

インフルエンザに関する様々な情報や対策は、連日テレビや新聞などで取り上げられています。常に最新の正確な情報を入手して行動しましょう。決してうわさ話に惑わされないようにして下さい。

水痘や流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)、溶連菌感染症は散見される程度となりましたが、これらも9月以降に流行するかもしれませんので注意は必要でしょう。予防接種を受けておかれることをお勧めします。

夏の定番の感染症、「手足口病、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱(プール熱)」は大きな流行もなく終わりそうです。

## ヒブワクチンに関する情報

インフルエンザ菌b型(ヒブ)による乳幼児の髄膜炎を予防するワクチンが発売されてから半年以上が経過しました。ワクチンは相変わらず品不足の状況が続いており、希望される方には大変ご迷惑をおかけしています(と、製薬会社の方が言っています)。確かにその通りです。

さて過日、営業担当の方が訪問され、ワクチンの供給量の見直しについて話を伺うことができました。

このワクチンはフランスからの輸入品ですが、日本国内の品不足に対応して、すでに増産体制をとっているということです。ただし原料の製造や完成品の品質検査などに一定の時間を要するため、日本国内での販売量が増えるのは来年の7月ころになるとの予想です。まだあと1年近くかかりますが、そのころには今の3~4倍ほどのワクチンが供給されるとのことですので、現在のような長期の順番待ちはなくなるものと期待されます。

**インフルエンザ・ワクチンについては裏面をご覧ください**

## インフルエンザ・ワクチン

新型インフルエンザの流行拡大とともに、日々の診療の折に、質問を受ける機会が増えてきました。各種の報道でご存知の方も多いとは思いますが、改めて8月末の時点で分かっていること、また私なりの考え方などをお知らせします。

初めに、「**新型インフルエンザ用のワクチン**」と、従来から接種してきた「**季節性インフルエンザ用のワクチン**」をはっきり区別することが大切です。この二つのワクチンは異なる物です。質問される時や、将来、ワクチン接種を申し込まれる時など、はっきりと区別して伝えないと誤解や混乱のもとになりますので十分注意してください。

そこで「**新型インフルエンザ用のワクチン**」についてですが、現時点での報道では、製造量が当初の予想よりもかなり少なく、またそれが発売されるのは10月頃の前定とのことです。流行はすでに始まっていますから、多くの方は接種できない可能性が高いです。厚生労働省は、少ないワクチンをどのような人に優先的に接種するのか、また公費での接種にするのかどうかなど、9月になってから決定するそうです。我々も、今は情報を待つしかありません。皆様もマスコミの報道を聞き逃さないようにしてください。

次に「**季節性インフルエンザ用のワクチン**」ですが、例年なら希望された方全員に接種してもなお、余る量を作っていたのですが、今年は工場の生産ラインを新型用ワクチンの製造に切り替えたため、こちらも多少品不足になる恐れがあります。

製薬会社の方の話では、昨年消費された量のワクチンを製造したとのことです。つまり、昨年接種した方だけが今年も接種を希望されるのであれば、不足することはありません。ところが、昨年は接種しなかったのに、今年接種したいという方が増えれば、ワクチンの量が足りなくなってくる。

可能であれば両方のワクチンを接種したほうが良いと思いますが、運悪く接種できなかったとしても、タミフルやリレンザという治療薬もありますので、過剰な心配は不要だと思います。日頃から体調管理に心がけ、手洗いやマスクなどで感染を予防することが一番大切です。



## 当院でのインフルエンザワクチン実施計画

以下は「**季節性インフルエンザのワクチン**=従来から毎年実施しているワクチン」についてです。

9月 4日（金）から予約受け付けを開始。

10月17日（土）午後の臨時枠から接種を開始。

ただ10月には新型インフルエンザの流行がピークを迎えることが予想されており、また今年はワクチンの不足が懸念されていますので、接種の実施日や時間帯、院内での待機場所など、昨年とは若干やり方を変えなければなりません。

具体的な例として、通常の診療時間内の接種は極力減らし、土曜日午後の「**臨時の接種時間帯**」に受けていただきたいと考えています。またどうしても土曜日の都合が悪い方に対しては、火曜日・金曜日に限定して実施することも考慮しています。いずれの場合も、接種できる人数には限界がありますので、ご希望の方はできるだけ早めに申し込まれることをお勧めします。

新型用のワクチンについては、厚生労働省の方針が決まらなければ動きようがありませんので、現時点では全くの白紙状態です。

なお、季節性のワクチンは（子供の場合は）2回接種がお勧めです。仮に新型用のワクチンも2回接種が推奨されれば、両方を希望するお子様は合計4回の接種となります。お子様にとっても保護者の方にとっても、また実施する医療機関にとっても、かなりの負担となりそうですが、一種の非常事態ですので、お互いに精一杯努力しましょう。

## ともながこどもクリニック・診療カレンダー

当院の休診・祝日診療の予定（10月分まで）をカレンダーにしました。受付窓口および玄関下駄箱の上に置いてありますので自由にお持ち帰りください。11月以降のカレンダーは、冬期の小児科休日診療の当番が決まる10月上旬に作成する予定です。

**こどもクリニックニュースの無料郵送サービスをしています！**

郵送をご希望の方は、受付でお申し込み下さい

携帯用ホームページ



ともながこどもクリニック

加須市下高柳 1633-1

TEL 0480-66-4150